

シベリア・極東地域持続可能な森林経営推進体制強化事業（新規）

1 趣旨

ロシアのウラル山脈以東のシベリア・極東地域では、違法伐採や森林火災による森林資源の減少・劣化等様々な問題により、持続可能な森林経営の達成への悪影響が懸念されている。

この地域で持続可能な森林経営に基づく木材が供給される体制が整うことは、我が国の森林の持続可能な経営の確立にとって重要な課題であるほか、この地域が共同実施（Joint Implementation：JI）プロジェクトの有力な候補地であることから、将来的に京都議定書における我が国の排出削減目標達成のための手段を確保する観点からも、その体制確立が緊急の課題である。

しかしながら、旧ソ連邦崩壊及び1990年代の経済混乱期から続く財政難等によりロシアの森林管理体制が弱体化していることから、我が国の利害に直結するこの地域では、持続可能な森林経営の実現に不可欠な基盤となるモニタリング・評価・報告（Monitoring, Assessment and Reporting：MAR）の体制整備が遅れている状況にある。

このため、我が国とロシアがそれぞれ有する情報や技術を十全かつ効率的に活用しつつ、この地域における MAR 体制の確立に資するモデルシステムを構築するとともに、そのシステムを活用した違法伐採対策や森林吸収源事業の可能性調査を行い、もって持続可能な森林経営及び地球温暖化防止対策の推進に資する。

2 事業内容

(1) MAR 体制モデル構築

地理情報システム等の活用による MAR システムの構築

(2) 森林吸収源事業可能性調査

① JI プロジェクト実行体制の調査・分析

② JI プロジェクトに資する基礎情報整備及び投資分析モデルの開発

3 事業実施主体

(社) 日本森林技術協会

4 事業実施期間

平成18年度～22年度（5年間）

5 補助率

定額

6 平成18年度概算決定額

12,093千円（0千円）

[林野庁計画課海外林業協力室]